

★目指せ！

日本初のピッコロ・ヴァイオリン奏者！ソリスト候補者募集：

7月31日にオリンピック青少年センターで開催されるコンサートでハッチンス博士のピッコロ・ヴァイオリンを演奏しませんか。現在日本に4丁しか存在しない、この貴重な楽器を世界で最初のピッコロ・ヴァイオリン奏者、ロシアの文化功労賞受賞音楽家で、国際コンクール出場者を指導する特別専門優秀教授のディプロマをもつ、グレゴリー・セドフが来日し、マンツーマンのプライベートレッスンにて、指導致します。また、通常のヴァイオリンの指導も致します。

ソリスト候補者募集詳細：

ピッコロ・ヴァイオリンの魅力を多くの人々に知ってもらう為の演奏を行っていただきます。7/31開催のコンサートでピッコロ・ヴァイオリンソリストとしてオーケストラと共演。（希望者には、8月2日、恵比寿アートカフェでの演奏会にも出演できます。更にやる気のある方には、今後もピッコロ・ヴァイオリン研究会が演奏活動を支援いたします。）事前にピッコロ・ヴァイオリンが貸与され、レッスンを受ける事が出来ます。以下の対象者により、音源と経歴を考慮し、ソリスト候補者を選考いたします。

対象者：16歳以上、

ソリスト・室内楽奏者として活躍しているアーティスト
プロのオーケストラ奏者として活躍している方
音大生・大学院・専攻科生や卒業生
中高生で、コンクール入賞歴を持つ方

【スケジュール】

レッスン日：7月24日～7月30日

オケとのリハーサル日：7月29日、30日

演奏会への出演：

- ① 7月31日：オリンピック青少年センター小ホールにて、アンフィニ・オーケストラとの共演
- ② 8月2日：恵比寿アートカフェにて、ユーリー・コジェバートフのピアノ伴奏との共演（ピッコロ・ヴァイオリンとヴァイオリンでの演奏での出演ができます）

問合せ先：ピッコロ・ヴァイオリン研究会 090-3576-0075 kaikk@sky.plala.or.jp

★目指せ！

日本初のピッコロ・ヴァイオリン奏者！ソリスト候補者募集：

■選考要項

出場希望者は、ビデオ・音源による選考を行いますので、以下の曲の演奏を録音・もしくは録画の上、プロフィール、音楽歴、メッセージを添えて piccoloviolin@art-music.net にお送り下さい。
ファイル形式：MP-3, MP-4を大容量ファイル便にて、もしくはYouTubeにアップして、ご送信下さい。
(録音ができない方には、試奏会にて、録音致します。録音費はお問合せ下さい。)

J.S.Bach. Fugue from Violin-solo Sonate No.1

J.S.Bach. Fugue from Violin-solo Sonate No.2

J.S.Bach. Fugue from Violin-solo Sonate No.3

Any Concerto (first movement)by W.A.Mozart, Ch.de Beriot, A.Vieuxtemps, H.Wieniawski, F.Mendelssohn, L.V.Beethoven, J.Sibelius, P.I.Tchaikovsky, S.Prokofiev.

or any one piece by A.Vieuxtemps, N.Paganini, P.I.Tchaikovsky, E.Isaye, P.Sarasate.

■締め切り：6月30日 選考結果は、7月3日にご連絡致します。

選考通過者には7月3日以降、楽器をレンタル致します。事前に楽器に慣れて頂きます。

7月31日に演奏して頂く曲は、Ch. de Beriot. Violin concerto No. 9 A-minor. op.104.もしくは、
J.S.Bach. Flute suite H-minor (ouverture No. 2) を予定

8月2日の演奏会は、ロシア人ピアニスト、ユーリー・コジェバートフのピアノ伴奏での共演となります。曲目は、ご相談の上、決定致します。

■選考料：15,000円

■参加費（以下費用）：35,000円

プライベート レッスン：7月25日～30日 1時間単位×3回、通常のヴァイオリンの指導もいたします。

リハーサル：7月29日、30日、7月31日当日リハーサル

楽器レンタル

*追加レッスンをご希望の場合は、別途レッスン料1時間につき15,000円

■お問合せ・お申し込み先：ピッコロ・ヴァイオリン研究会

135-0091 港区台場1-1-1-1202

kaikk@sky.plala.or.jp 担当川島：090-3576-0075

★選考料お振り込み先：ピッコロ・ヴァイオリン研究会

三菱東京UFJ銀行 恵比寿支店 普通講座：1830572

★目指せ！

日本初のピッコロ・ヴァイオリン奏者！ソリスト候補者募集：



■指導者：グレゴリー・セドフ

ロシア芸術文化発展功労賞受賞音楽家

世界で最初のピッコロ・ヴァイオリンソリスト、

マリス・ヤンソンス、M. ロストロポーヴィチ、ユーリ・テミルカーノフ等、世界の巨匠が、21世紀の新しい楽器として、注目するピッコロ・ヴァイオリン！そして、グレゴリー・セドフの活動を多大絶賛！

カルコフ音楽院及びサンクトペテルブルグ国立音楽院修了。

Professor Adolf Leschinsky. (1970 - 1975) Professor Mikhail Belyakov. (1975 - 1978)に師事。

1995年、米国の著名なヴァイオリン製作者カーリン・ハッチンス博士によるピッコロ・ヴァイオリンに出会い、以来、この楽器に魅せられ、世界初のピッコロ・ヴァイオリン奏者として活躍する。

サンクトペテルブルグ・ハッチンス・オクテットのソリストとして1998年にリリースされたCDは、この年のグラミー賞ベストクラシック レコーディング部門、ベストクラシック室内楽演奏部門、ベストクラシック録音技術部門の3部門において、セミファイナルを受賞。

これまでレニングラード・コンサート・オーケストラの首席奏者、マリンスキー歌劇場オーケストラメンバー等を歴任。ユーリ・テミルカーノフの信任厚く、彼と共に1989年、サンクトペテルブルグ フィルハーモニー交響楽団へ移籍。以来、第一ヴァイオリン奏者として世界各地で公演。1994年より、サンクトペテルブルグ国立音楽院室内楽科及び2009年よりサンクトペテルブルグ国立音楽大学ヴァイオリン科で教鞭をとる。オーケストラ指導も行っている。

日本、米国でもコンサート、マスタークラス等、精力的に活動し、後進の輩出に貢献している。国際コンクール出場者を指導する特別優秀専門教授のディプロマを持つ。カール・フレッシュからザハール・ブロンに至るヨーロッパ系ヴァイオリン楽派と伝統的ロシア系ヴァイオリン楽派を継承する独自の教授法で定評がある。サンクトペテルブルグでは、多くのソリストがコンサート前に、セドフによるレッスン受けに来ている。

全ロシア国際コンペティション受賞者で、現在サンクトペテルブルグ フィルハーモニー交響楽団第一バイオリニスト・アソシエイト コンサートマスターのパーヴェル・ポポフ他、教え子のヴァイオリニスト、ピオラ奏者、チェリストの多くは、ロシア国内をもとより、ドイツ、オーストリア等でも国際的に活躍している。

2007年より、ピッコロ・ヴァイオリンソリストとして、東京をはじめ名古屋、福山、滋賀、大阪、京都、岡山、広島、群馬、福島、沖縄など日本各地で公演を重ねており、その活動は日経新聞、朝日新聞など各紙で紹介されている。

また2010年、ヤマハホールでの公演は、皇后陛下美智子様もご鑑賞された。2011年には、震災後の6月避難所への慰問、福島での応援演奏を行い、銀座王子ホールでは、現在東京芸術大

★目指せ！

日本初のピッコロ・ヴァイオリン奏者！ソリスト候補者募集：

学副学長である澤和樹教授とその仲間たちと共演するなど、活動を広げている。

2012年 NHK 地球テレビ 「エル・ムンド」WOWOW 「ザ・プライムショー」等にゲスト出演し、ピッコロ・ヴァイオリンの音色が全国に放映された。2011年6月より東京国際大学特命教授。

Grigory sedukh : <http://grigorysedukh.narod.ru/index-violin-piccolo.html>

アウオード : <http://grigorysedukh.narod.ru/photoalbum-new.html>

ピッコロ・バイオリン研究会 : <http://piccoloviolin.cocolog-nifty.com/blog/>

<https://www.facebook.com/Grigory.Sedukh.Piccolo.Violin.Soloi>

[https://www.facebook.com/Grigory.Sedukh.Piccolo.Violin.Soloist#!/groups/1871](https://www.facebook.com/Grigory.Sedukh.Piccolo.Violin.Soloist#!/groups/187144194666910/)

[44194666910/](https://www.facebook.com/Grigory.Sedukh.Piccolo.Violin.Soloist#!/groups/187144194666910/)

■ピッコロ・ヴァイオリンとは、世界的に著名なヴァイオリン製作者で音響学者のカーリン・M. ハッチンス博士が、30年以上にわたる科学的な実験と研究の末、新しいハーモニーの弦楽器8種を製作。その内、最小で最高音を担うのが、このピッコロ・ヴァイリン。NASAの技術を応用して作られた0.178 mm、530,000psiという特殊な弦をE線に使用することで、通常のヴァイオリンの1オクターブ高く調弦される。ただ単に高音なだけでなく、独特の伸びと艶がありフルートのような、あるいは優美なソプラノのような新しいサウンドが特徴。21世紀の新しいアイディアの楽器としてM・ロストロポヴィッチ、マリス・ヤンソンス、ユーリ・テミルカノフはじめ、世界の巨匠たちも注目している。また、高音の弦の響が癒し効果や浄化作用があるとも言われ、医師も注目。新しい音楽の地平とあらゆる分野での可能性を秘めた21世紀の希代の（期待の）楽器。

★東京芸術大学副学長 澤和樹氏よりグレゴリー・セドフに贈られた賛辞：

「ピッコロ・ヴァイオリン演奏家、グレゴリー・セドフ氏と知り合ったとき、「キワもの」を扱う異色演奏家というイメージを持っていた私は、その後、彼と共演した際に、彼の「本物の音と音楽」に触れ、自分自身の第一印象を大いに恥じた。彼は、「ノーマル・ヴァイオリン」でも一流の演奏家であり、ピッコロ・ヴァイオリンは、その器の大きな表現力のひとつのツールにすぎない。 澤 和樹」

★目指せ！

日本初のピッコロ・ヴァイオリン奏者！ソリスト候補者募集：

■次世代のピッコロ・ヴァイオリニストがロシアでは生まれています！

ロシアのピッコロ・ヴァイオリン新人演奏家：セミオン・ザッハーリャエフ

1990年サンクトペテルブルグ生まれ。5歳よりヴァイオリンを習い、2009年より、サンクトペテルブルグ国立音楽院で学んでいる。

2003年、サンクトペテルブルグの音楽天才児アンサンブルのメンバーとして、ドイツへの演奏ツアーに参加。2005年から2007年には、アメリカ合衆国(2回)英国(2回)ドイツ各国の音楽祭に参加。2009年に開催されたサンクトペテルブルグ クリスマス アセンブリーズ国際コンクールで2位受賞。また、2012年秋より、ピッコロ・ヴァイオリンをグレゴリー・セドフに師事。

